

学校運営協議会 議事録

校名	府立港南造形高等学校
校長名	山崎 裕彦

開催日時	令和7年3月3日(火) 15:00 ~ 17:00
開催場所	府立港南造形高等学校 本館1階 ガイダンス室
出席者(委員)	美濃委員、渡邊委員、宮原委員、寄委員、文野委員、河井委員
出席者(学校)	校長、教頭、首席2名、教務部長、生徒指導部長、進路指導部長、造形科長 保健部長、人権推進委員長、第2学年主任、第3学年主任
傍聴者	なし
協議資料	・令和6年度 学校経営計画及び学校評価(案)について ・令和7年度 学校経営計画及び学校評価(案)について ・令和6年度 各分掌・各学年より本年度の取り組みについて
備考	

議題等(次第順)
<ol style="list-style-type: none"> 1 開会の挨拶 2 委員紹介 3 学校より報告 <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 学校経営計画達成状況について 令和7年度 学校経営計画について 令和6年度 各分掌・各学年の取組について 4 協議等 5 閉会の挨拶

協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>○ 学校より報告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 校長より、令和6年度 学校経営計画達成状況について報告があった。 <ul style="list-style-type: none"> ～ 報告内容 ～ ・ICT 機器の効果的な活用について ・人材育成、地域連携、大学・関係機関との連携について 水上警察との連携、近畿厚生局との連携)、住吉まつりへの参加、卒業生による講演「ようこそ先輩」、大学等による出前授業の実施、その他(「DIESEL」とのコラボ企画、住之江区「子育てイベント」、すみのえアートビート、献血キャンペーン、大和川再生 壁画制作、野鳥園 壁画制作)など 活動実績について 全総文祭岐阜大会美術工芸部門代表、近畿福井大会美術工芸部門大阪代表、全日本高校デザインイラスト展、文部科学大臣賞、大阪成蹊主催デザインコンペ文部科学大臣賞 他、大阪芸術大主催コンペ銅賞、部門別最優秀賞 他、ジャパンペールデザインコンペ、全国高校生「地域の自然」甲子園(ネイチャー甲子園)動画クリエイト部門 準グランプリ、全国はなが甲子園出場 2. 校長より、令和7年度 学校経営計画について説明があった。 3. 各分掌および各学年より、今年度の取組みについて報告があった。

～ 報告内容 ～

新教育課程の編成、教科用図書の選定、生徒指導状況、進路状況、各種検診、防災避難訓練
広報・生徒会・PTAの活動、人権教育・人権研修の実施、造形科・各学年の活動

○協議(各委員より)

- ・時間外勤務の軽減など、教員の健康に留意しながら学校運営をすすめてもらいたい、との助言があった。
- ・ICT機器の活用について中学校での現状を踏まえ、1人1台端末の活用について助言指導があった。
- ・受験生の公立高校離れが進む中、公立高校の魅力を発信するためにも、より一層、中高連携の強化を図るべきである、との意見があった。
- ・中学校における生徒指導上の課題について情報提供があった。
- ・教育活動におけるICT活用は、よく吟味しながら導入する必要があり、特にプレゼンテーション能力の育成には従来のアナログ的な思考も重要である、と助言指導があった。
- ・様々な課題を抱えた生徒がいる中、今年の3年生は全員が卒業できるということはすばらしい、との意見があった。
- ・学校教育自己診断アンケートのICT活用に関わる項目について、質問内容を検討し、より明確にすべき、との助言指導があった。
- ・発表の機会が増えたことで、生徒一人ひとりの自主性は高まっているのではないか、との意見があった。
- ・海外研修旅行について、生徒たちに事前学習やグループワークに取り組みさせることにより、学習効果が高まっている、との意見があった。
- ・本校の魅力をもっとアピールするためにも、ICT活用のみならずアナログ的な手法で発信していけることも大事にして欲しい、との意見があった。
- ・生徒たちが多くのコンペなどに参加、受賞していることは、自信や意欲の高揚につながり、自分自身を発信する力も身につくことが期待できるので素晴らしい、との意見があった。
- ・広く学校のことを認知されるよう、もっと学校の魅力発信を強化する必要があるとの助言指導があった。
- ・学校教育自己診断について、さらに保護者の回答数を上げることができるよう、アンケートの実施方法を検討して欲しい、とのご意見があった。
- ・美術とICTのより効果的な融合を旨としてほしい、との意見があった。
- ・応募人数減少について、いろいろな分野を体験しながら自分の極めたい分野を決定していけるといいう港南造形高等学校の魅力があまり知られていない状況があると思うので、中学生にもっと知ってもらえる機会をつくるべき、との助言指導があった。
- ・生徒たちは港南展(卒業制作展)で先輩の作品を見て刺激を受け、その憧れから進路を決定することができていると感じる、との意見があった。

次回の会議日程

日時	令和7年6月中旬
会場	府立港南造形高等学校